

第178回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成23年1月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

| 地区別 | 人 口 | | | 世 帯 | | |
|---------------|---------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 人 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 世 帯 数 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 中 心 部 | 9,673 | -0.82 | -0.13 | 4,055 | -0.19 | 0.02 |
| 東 部 地 区 | 14,375 | -0.13 | -0.10 | 5,715 | 1.32 | -0.08 |
| 西 部 地 区 | 10,673 | -0.92 | -0.05 | 4,013 | 0.04 | -0.02 |
| 駅 南 地 区 | 6,266 | -1.12 | 0.06 | 2,661 | -0.29 | -0.07 |
| 半 田 地 区 | 3,623 | -0.22 | 0.16 | 1,359 | 0.00 | 0.00 |
| 横 山 地 区 | 5,662 | -0.50 | -0.21 | 1,878 | 0.26 | -0.15 |
| 茨 目 ・ 田 尻 地 区 | 6,976 | -0.34 | 0.02 | 2,347 | 0.12 | -0.08 |
| 荒 浜 地 区 | 5,075 | -0.64 | -0.11 | 2,018 | 1.00 | -0.19 |
| そ の 他 地 区 | 20,543 | -1.85 | -0.22 | 7,155 | -0.26 | -0.19 |
| 西 山 町 地 区 | 6,243 | -1.17 | -0.12 | 2,124 | -0.42 | -0.14 |
| 高 柳 町 地 区 | 1,889 | -3.22 | -0.26 | 840 | -0.94 | 0.00 |
| 柏 崎 市 計 | 90,998 | -0.96 | -0.10 | 34,165 | 0.15 | -0.09 |
| 刈 羽 村 | 4,881 | -0.42 | -0.10 | 1,557 | 0.84 | 0.06 |
| 小 国 地 区（長岡市） | 6,258 | -2.38 | -0.17 | 2,117 | -1.44 | -0.09 |
| 出 雲 崎 町 | 5,113 | -1.54 | -0.11 | 1,803 | -0.49 | -0.27 |
| 合 計 | 107,250 | -1.05 | -0.11 | 39,642 | 0.06 | -0.09 |

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で891人、0.96％、刈羽村で21人、0.42％、小国地区（長岡市）で153人、2.38％、出雲崎町で80人、1.54％とそれぞれ減少し、全体では1,145人、1.05％の減少となっている。また、前月比においても柏崎市で100人、0.10％、刈羽村で5人、0.10％、小国地区で11人、0.17％、出雲崎町で6人、0.11％と減少したことから、全体では122人、0.11％の減少となった。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で31世帯、1.44％、出雲崎町で9世帯、0.49％と減少したものの、柏崎市で53世帯、0.15％、刈羽村で13世帯、0.84％と増加したことから、全体では26世帯、0.06％の増加となった。また、前月比においては、刈羽村で1世帯、0.06％と増加したが、柏崎市で33世帯、0.09％、小国地区で2世帯、0.09％、出雲崎町で5世帯、0.27％と減少した結果、全体では39世帯、0.09％と減少している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

| | 柏崎職安 | 新潟県 | 前年同月比 | | 前 月 比 | |
|-----------------|-------|------|--------|-------|-------|-------|
| | | | 柏 崎 | 県 | 柏 崎 | 県 |
| 月 間 有 効 求 人 | 1,132 | | 130.54 | | 12.63 | |
| 月 間 有 効 求 職 者 | 2,031 | | 31.54 | | 7.17 | |
| 月 間 有 効 求 人 倍 率 | 0.56 | 0.68 | 0.24* | 0.33* | 0.03* | 0.08* |

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

労働需給状況については、平成22年1月分までは「パートを除く常用」の計数を記載していましたが、平成22年2月分からは「パートを含む全数」の計数を記載していますので留意願います。なお、前年同月比では、平成23年1月分まで「パートを除く常用」との比較になっています。

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,132人と前年同月比で641人、130.54％の増加、前月比でも127人、12.63％と増加している。

一方、月間有効求職者数は2,031人と前年同月比で487人、31.54％の増加、前月比でも136人、7.17％の増加となっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.56倍と前年同月比で0.24ポイント上回り、前月比でも0.03ポイント上回っている。なお、県平均0.68倍と比べると0.12ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が567人と前年同月比で157人、38.29％の増加、月間新規求職者数では655人と前年同月比で55人、9.16％と増加した結果、月間新規求人倍率は0.87倍となり、前年同月の0.68倍に比べて0.19ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

| | 当 月 の 申 請 | | | 平成23年1月の年度累計 | |
|-------------|-----------|-------|-------|--------------|-------|
| | 件 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 件 数 | 前年同月比 |
| 一 般 住 宅（併用） | 9 | -6 | -10 | 216 | -127 |
| 共 同 住 宅 | 0 | 0 | 0 | 5 | -4 |
| 事 務 所 | 0 | -1 | 0 | 4 | -5 |
| 作 業 所・工 場 | 0 | 0 | 0 | 10 | 8 |
| 営 業 建 物 | 1 | 0 | 0 | 12 | -9 |
| 公 共 建 物 | 0 | 0 | 0 | 1 | -1 |
| そ の 他 | 3 | -1 | 2 | 71 | -16 |
| 合 計 | 13 | -8 | -8 | 319 | -154 |

（資料出所： 柏崎市建築住宅課）

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が13件と前年同月比で8件の減少、前月比でも8件の減少となっている。工種別における主な増減は、前年同月比では一般住宅（併用）で6件の減少、前月比でも一般住宅（併用）が10件の減少となった。

なお、工種全体の申請内容は、新築が9件、増築が3件、改築が1件となっている。また、一般住宅（併用）9件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況は、市内施工業者が6件（うち新築4件、増築2件）、市外施工業者が3件（うち新築2件、改築1件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

| | 契 約 口 数 | | | 使 用 量 | | |
|-----|---------|-------|-------|--------|-------|-------|
| | 口 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 使 用 量 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 電 灯 | 65,213 | 0.38 | -0.03 | 30,120 | 1.92 | 30.72 |
| 電 力 | 10,943 | -2.20 | -0.16 | 41,058 | 1.81 | 3.16 |

（資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所）

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で250口、0.38%の増加となったものの、前月比では23口、0.03%と減少している。一方、電力においては、前年同月比で247口、2.20%の減少、前月比でも18口、0.16%の減少となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で570kwh、1.92%の増加、前月比では7,080kwh、30.72%と大幅に増加している。一方、電力においても、前年同月比で731kwh、1.81%の増加、前月比でも1,259kwh、3.16%と増加している。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

| | ガ ス 供 給 量 | | | 水 道 給 水 量 | | |
|-----------|-----------|-------|-------|-----------|--------|--------|
| | 供 給 量 | 前年同月比 | 前 月 比 | 給 水 量 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 家 庭 用 | 1,774,603 | 1.30 | 33.99 | 688,087 | 0.88 | 3.10 |
| 営 業 用 | 365,218 | 12.28 | 53.41 | 119,624 | 7.13 | 2.36 |
| 工 場 用 | 909,915 | 17.33 | 29.77 | 135,073 | -0.10 | -4.47 |
| 官 公 学 校 用 | 789,986 | 5.41 | 56.02 | 81,373 | 8.62 | 9.84 |
| そ の 他 | | | | 30 | -82.55 | -42.30 |
| 合 計 | 3,839,722 | 6.60 | 38.62 | 1,024,187 | 2.00 | 2.43 |

（資料出所： 柏崎市ガス水道局）

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で237,905m³、6.60%の増加、前月比でも1,069,863m³、38.62%の大幅な増加となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比、前月比ともにすべての用途で大幅に増加している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で20,163m³、2.00%の増加、前月比でも24,393m³、2.43%と増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比では工場用、その他を除く用途で増加、前月比でも工場用、その他を除くすべての用途で増加している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

| | 入 口 | | | 出 口 | | |
|-----|---------|--------|--------|---------|--------|--------|
| | 台 数 | 前年同月比 | 前 月 比 | 台 数 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 柏 崎 | 73,195 | -1.87 | -15.60 | 75,557 | -1.36 | -16.32 |
| 西 山 | 31,976 | -5.45 | -15.33 | 28,932 | -5.12 | -15.54 |
| 米 山 | 12,009 | -17.40 | -26.13 | 11,479 | -13.05 | -25.99 |
| 合 計 | 117,180 | -4.69 | -16.74 | 115,968 | -3.60 | -17.20 |

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で5,776台、4.69%の減少、前月比でも23,574台、16.74%と大幅に減少している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で4,332台、3.60%の減少、前月比でも24,103台、17.20%の大幅な減少となった。

インター別で見ると、前年同月比では入口・出口ともにすべてのインターで減少、前月比でも同様にすべてのインターで減少となっている。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

| | 預 金 | | | 貸 出 金 | | |
|-----|---------|-------|-------|---------|-------|-------|
| | 残 高 | 前年同月比 | 前 月 比 | 残 高 | 前年同月比 | 前 月 比 |
| 末 残 | 357,356 | -0.72 | -0.76 | 148,207 | -1.78 | -1.64 |
| 平 残 | 357,591 | -0.31 | 0.37 | 148,201 | -0.76 | 0.07 |

預金は、末残が前年同月比で2,618百万円、0.72%の減少、前月比でも2,755百万円、0.76%と減少している。また、平残においては、前年同月比で1,120百万円、0.31%の減少となったものの、前月比では1,340百万円、0.37%と増加している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で2,701百万円、1.78%の減少、前月比でも2,484百万円、1.64%と減少している。また、平残においては、前年同月比で1,141百万円、0.76%の減少となったが、前月比では111百万円、0.07%の増加となっている。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

| | 枚数/金額 | 前年同月比 | 前 月 比 |
|---------------|--------|--------|--------|
| 交 換 枚 数 | 32,337 | 11.87 | 7.74 |
| 交 換 金 額 | 26,265 | 31.96 | 49.36 |
| 不 渡 り 手 形 枚 数 | 10 | -37.50 | 150.00 |
| 不 渡 り 手 形 金 額 | 7 | -64.53 | 36.20 |

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で3,433枚、11.87%の増加、前月比でも2,325枚、7.74%と増加している。また、交換金額においては前年同月比で6,362百万円、31.96%の増加、前月比でも8,681百万円、49.36%の大幅な増加となっている。なお、不渡手形は10枚、7百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産4件（前年同月6件、前月4件）、負債総額15億円（同19億円、同6億円）となっている。地区別では、下越地区で2件（新潟市1件、佐渡市1件）、中越地区で2件（魚沼市2件）となり、上越地区では発生していない。業種別は、建設業3件、製造業1件となっており、倒産原因については、販売不振2件、経営者の病気・死亡1件、その他1件となっている。

当月の企業倒産は4件、負債総額で15億円と、前年同月比では件数で2件減少、負債総額では4億円の減少となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は発生していない。

県内経済は、持ち直しの動きが続いているものの、足踏みもみられるなど、依然として厳しい状況にある。個人消費・物価は、持ち直してきているものの、弱い動きもみられる。雇用面も持ち直してきているが、引き続き厳しい状況となっている。また、企業収益・景況感は、改善の動きが弱まっている。